

令和2年度第3回練馬区在宅療養推進協議会認知症専門部会会議要録

- 1 日時 令和3年1月21日(木) 午後6時45分～7時30分
- 2 開催方法 Web会議システムによるオンライン開催
- 3 出席者 <委員>
古田委員、石黒委員、田邊委員、塚本委員、斎藤委員、鈴木委員、鵜浦委員、
油山委員、志寒委員、神野委員、芹澤委員、今井委員
吉岡委員(高齢施策担当部長:部会長) 屋澤委員(高齢者支援課長) 浜崎委員(高齢社会対策課長) 風間委員(介護保険課長) 高橋委員(地域医療課長)
<事務局>
高齢者支援課
- 4 公開の可否 オンライン会議のため公開なし
- 5 次第
 - 1 開会
 - 2 令和2年度練馬区在宅療養推進事業実施結果
 - 3 第13回認知症フォーラム実施結果について
 - 4 令和2年度第2回認知症地域生活講座実施結果について
 - 5 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について
 - 6 練馬区在宅療養推進事業(令和3年度～令和5年度)(案)について
 - 7 令和3年度練馬区在宅療養推進事業スケジュール(案)について
 - 8 令和3年度認知症ガイドブックについて
- 6 資料
 - 資料1 令和2年度練馬区在宅療養推進事業実施結果
 - 資料2 第13回認知症フォーラム実施結果について
 - 資料3 令和2年度第2回認知症地域生活講座実施結果について
 - 資料4 - 1 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)
 - 資料4 - 2 第8期計画関連事業について
 - 資料5 練馬区在宅療養推進事業(令和3年度～令和5年度)(案)
 - 資料6 令和3年度練馬区在宅療養推進事業スケジュール(案)
 - 資料7 - 1 令和3年度認知症ガイドブックについて
 - 資料7 - 2 令和3年度認知症ガイドブック(案)
 - 参考1 認知症施策推進大綱(概要)
 - 参考2 介護保険法地域支援事業在宅医療・介護連携推進事業の見直しについて
 - 参考3 在宅療養の4つの場面別のPDCAサイクル
- 7 事務局 練馬区高齢施策担当部高齢者支援課在宅療養係
電話 03-5984-4597

8 会議の概要

(事務局)

【出席確認、資料確認】

(部会長)

【挨拶】

(部会長)

次第1報告(1)～(3)は資料配付のみとしている。報告(4)資料4 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について報告を。

(事務局)

【資料4-1】および【資料4-2】について説明。

(部会長)

本件について質問、意見等はいかがか。

(委員)

【資料4-2】事業1の認知症本人および家族への支援にある N-impro を活用した学習会とはなにか。

(委員)

練馬区が平成29年度から介護事業者、東京大学と共同で開発した認知症を学ぶためのプログラムです。内容はカードゲーム方式のプログラムで、コンビニエンスストアの研究をしている大学の先生方と協議をしたものです。もし自分がコンビニエンスストアの店長や店員だった場合を想定して、シチュエーションカードをひいて対応を検討し合うゲーム形式のプログラムです。区ではコンビニエンスストアの方々と実際に利用して理解を深め合い進めてきたところだが、最近では町会や自治会でも学習会として広まっている。このツールが非常に有効だということで、学習会を今後も続けていく予定としている。

(部会長)

ほかに質問・意見はいかがか。

(部会長)

次第2議題(1)練馬区在宅療養推進事業(令和3年度～令和5年度)および議題(2)令和3年度練馬区在宅療養推進事業スケジュール(案)について説明を。

(事務局)

【資料5】 【資料6】について説明。

(部会長)

本件について質問、意見等はいかがか。

(委員)

P D C A サイクルとは何の略でどのような意味か。

(事務局)

P D C AサイクルについてはPがP L A N (プラン)、DがD O (ドゥ)、CがC H E C K (チェック)、AがA C T I O N (アクション)であり頭文字をとってP D C Aという。事業を行う際に計画を立て、実施し、それを評価し、次の行動に活かしていくということを繰り返して行っていくことがP D C Aサイクルである。

(部会長)

ほかに質問、意見等はいかがか。

(委員)

専門病院のアウトリーチについて。以前に話をきいた際は、まだできるかどうか分からないということだったが、予算がついて来年度実施できるようになったということか。

(委員)

予算についてはこれから区から区議会へ提案をしていく内容のため、固まっていない。大規模という形では難しいかもしれないが、最低限必要な部分については担保して行っていきたいとお載せしている。アウトリーチとして、医師の力を借りて対応しなければならないケースは多数あるわけではないが、困難なケースはどうしてもあるため、その際は医師の力をお借りしたいと考えている。

(委員)

事例検討集の作成とあるが、どのようにまとめてどのように発表していく予定なのか教えて頂きたい。

(事務局)

コロナ禍における感染症対策のものになるが地域医療課で行っている多職種連携のための事例検討会があり、このなかで1年間みなさんが頑張ってくられたことをどのような対策を行ってきたのか、うまくいったのかうまくいかなかったのかグループディスカッションのなかで話していただいてそれを一冊にまとめて事例集としたいと考えている。

(部会長)

ほかに質問、意見等はいかがか。

(部会長)

次第2議題(3)令和3年度認知症ガイドブックについて説明を。

(事務局)

【資料7-1】【資料7-2】について説明。

(部会長)

本件について、質問、意見、感想等はいかがか。

(委員)

ガイドブックの中でホームページに繋がる部分は大体QRコードになっているが12ページのコラムについてもQRコードをつけても良いと思うがいかがか。

(事務局)

内容を検討し、できるだけQRコードを掲載する方向で調整をする。

(部会長)

ほかに、質問、意見等いかがか。

(部会長)

次第3その他について事務局より説明を。

(事務局)

現専門部会委員の任期満了および次期専門部会委員の選出方法等について説明。

(部会長)

【挨拶】

閉会